

# SSKW 働こう障害者も 働けるんだオしたちも

# こぶしだより

企画：社会福祉法人 こぶしの会 責任者：藤田 勝春 編集責任者：鈴木 順子  
編集：こぶし作業所 (〒321-0902) 宇都宮市柳田町1401番地



きょうされん第27次国会請願署名募金運動

特集

第二七次国会請願行動と小規模作業所の  
明日を開く全国大集会に参加!!

No.277



## ～ 目 次 ～

- ① 特集..... 2～3 P
- ② こぶし作業所のページ..... 4 P
- ③ けやき作業所のページ..... 5 P
- ④ サポートセンターのページ..... 6 P
- ⑤ セルプ・みらいのページ..... 7 P

# 第二七次国会請願行動と小規模作業所の 明日を開く全国大集會に参加!!

四月二日に国会請願行動、四月二二日に小規模作業所の明日を開く全国大集會があり、こぶしの会の各事業所より、利用者、職員の代表が参加をしてみました。

ホームヘルプ利用上限問題、支援センターの一般財源化、小規模作業所への国庫補助金一年連続一割削減、小規模通所授産施設への補助金減額などなど、小泉内閣のいわゆる骨太の方針から出ている三位一体の改革のもと、今社会保障、社会福祉の制度が改悪されてきています。さらには昨年度始まったばかりの「必要な人に必要なサービス」などと謳った支援費制度をもう早くも撤廃し介護保険に統合させる動きが活発になってきました。

こういった中、去る四月二二日(水)第二七次きょうざれん国会請願行動が行われました。

午前一〇時、直前学習会。請願行動の意義を確認し、決意表明を行いました。今年初めての参加者が多く(こぶし、けやき、みらいの参加

者も同様)二八〇人の参加者の八割近くを占めていたようです。一時間程度の学習会の後三〇グループに分かれて請願行動を行いました。栃木請願団も二班に分かれ岩手、福島支部と一緒に栃木、福島、岩手、秋田、青森の全ての議員さんに署名を手渡し、小規模作業所の問題、支援費制度の不十分さを訴えてきました。二大政党のひとつ民主党の代表議員の一人小沢一郎議員が受け取りを拒否!?なんで??)

社会保障、社会福祉の制度を守り発展させるためには、なおいっそう大きな声を、また継続して国に伝えていく必要があります。次回ももっとたくさんさんの署名を携えて議員にどっさりと手渡したいですね。(今回は栃木より約三万筆の署名を届けました。全国は約一二〇万筆)

四月二二日に第二七次きょうざれん国会請願行動に行きました。福島の一ヶ所の作業所の所長さん二人と友愛作業所とセルプ・みらいの

計九名で行きました。国会議員の中から五〜六名ぐらいいは会ってくれました。でも、中には、全然会ってくれない人もいました。会った人はいい答えを言ってくれました。その言葉は、嬉しかったです。国会議員の人は少し見る目を変えなくてはいけないと思いました。なぜかと言うと僕は、国会議員は皆同じと考えていました。でも、皆同じではありませんでした。頭の固い人ばかりだと思っていたのに違う人もいっぱいいました。今回、初めての国会請願に参加して色々な人に会って色々なことが分かりました。今年二十歳になり選挙に行きます。頼れる人を選び皆が平等に暮らせる町づくりをしてもらいたいと思います。

(セルプみらい 渡辺 重晴)

平成一六年四月二二日に開催された、第二七次きょうざれん国会請願行動にけやき作業所自治会から三名の方が参加しました。けやき作業所自治会では、第二

七次国会請願行動参加にあたり、一六〇名分、一五〇名分、一〇〇名分と集めた、直井信也さん、水沼のぞみさん、道明宏次さん三名の方が国会請願行動に参加しました。国会請願行動に参加した三名の方に感想をインタビューしました。

一 議員さんとどんなことをお話ししましたか?

水沼「グループホームとか施設をもっと作ってほしいと話しました」

道明「送迎バスが小さいことや作業所が小さいことを伝えました」

直井「みんなで集めた署名を国会に出してもらえようをお願いしてました」

二 どんな人に署名をもらいましたか?

水沼「近所の人にお願ひしたり、親戚、家族に頼ん

三

道明 「宇都宮市のオリオン通りで、開催されたがんばるデーでたくさんの方に署名をもらいました」

直井 「友人や近所の方、レストランなどのお店、社会福祉協議会に協力してもらいました」

国会請願行動を振り返って感想を教えてください。

水沼 「国会請願楽しかったです。選挙でしゃべっている人たちと話すことができて面白かったです」

道明 「議員の人に会えたことがよかったです。けやき作業所に見学しに来てもらいたいです。もっと長く話を聞いてもらいたかったです」

直井 「去年は、署名を受け取ってくれない人(議員)もいましたが、今年はずべての方が署名を受け取ってくれてよかったです。国会請願後日に、「署名を正式に国会に提出します」という内容の電話が、議員会館の方からけ

き作業所にありました。その電話をうけて、うまく言葉では言えないけど、本当に署名を集めてよかったですと思いました。

(けやき作業所)



皆様は「小規模作業所」という社会資源をご存知でしょうか。別名を「無認可作業所」とも言われ、常に大変な思いをしながら運営しています。任意に運営している作業所や県・市町村の条例によって運営している作業所のことです。障害のある方にとって、小規模作業所は働く場であり、仲間づくりの場であり、地域の相談活動や情報を受発信の場でありと、障害者

の地域生活を考える拠点として無くてはならない存在となつていきます。

そのような小規模作業所は一九八一年当時に全国に六三八カ所だけでしたが、現在では六千カ所を超えています。そしてそこに通う障害のある人の数は九万人を大きく上回っています(平成一五年きょうざれん調べ)。認可施設である通所授産施設は全国に約二千三百カ所ということからも、小規模作業所は地域における大切な存在であることがうかがえます。

しかし、そのような小規模作業所を支えてきていた国庫補助金制度(年額一カ所一〇万円)を小泉政権内閣が打ち出した「民間補助金の一律一割削減」の閣議決定に基づいて、国は補助金を平成一五年度より一割削減(九九万円)としてしまいました。さらに平成一六年度も一割削減の意向を示しています(九〇万円)。「こんなことは、絶対に許してはならない」と平成一五年一〇月より小規模作業所に関係する五団体(日本身体障害者団体連合会・手をつなぐ育成会・精神障害者家族会連合会・精神障害者地域生活支援協議会・きょうざれん)が、障害種別や事業形態の違いを乗り越え、この難局を乗り切るために連携しながら行動をすることとなりました。そして、今回の大

集会当日となる四月二二日を迎えたのです。

小規模作業所の明日をひらく全国大集会、と銘打って開かれたこの集会は文字通り全国各地から障害の種別を問わず六千人の利用者、関係者が日比谷公園に集まりました。当日は国会議員の方々も来られていて、リレートークの中で参加者がそれぞれの思いを議員の方々に訴えていました。施設職員からは福祉施設の現状や財政難の中で運営をしていること。当事者からは作業工賃の低さ、政府による啓蒙活動の必要性、イラク戦争への非難の声等が次から次へとあがっていました。その中でも当事者から、「戦争をすることで新たな障害者が生まれるだけだ。それならその分のお金を障害者福祉にまわしてもらえないか」との発言に会場が大いに沸きました。

午後は思い思いの気持ちを含めたプラカードや横断幕を手にし、シュプレヒコールをあげて日比谷公園から東京駅近くの公園まで歩きました。街行く人々に自分たちの実情を訴えかけ、少しでも障害者の現状を知ってもらえるよう、皆とともに精一杯声をあげたことに充実感を感じました。

(第二けやき職員)

## こぶし作業所ニュース

### 新人紹介

はじめまして、今年の4月からこぶし作業所で働くことになりました小林菜々子です。以前は、入所施設で勤めていました。勝手が違う為、戸惑いもありますが初心に戻り「なかま」と共に成長していきたいと思います。これから、仕事や行事を通し思い出をたくさん作っていければと思っています。どうぞよろしくをお願いします。

初めまして、三輪圭人です。兵庫県より福祉を学ぶためにこの栃木に来て早4年が過ぎました。社会人1年目の今、一つひとつの出来事が大きく自分のチカラになっていると思います。まだまだ未熟者ですが、一生懸命がんばりたいと思いますのでよろしくお願いします。

はじめまして。原 信之です。

長い間製薬会社でお医者さんを相手に仕事をしていました。40代半ばにしての初めての仕事に戸惑いと共に遣り甲斐も感じているところです。精一杯頑張りますので、何卒宜しくお願いいたします。

### こぶし作業所仲間自治会役員選挙！

毎年3月になると、利用者の自治会役員選挙が行われます。こぶし作業所に通う利用者の8割以上が重度の障害のある方たちの自治会ですが、毎年の選挙結果は実によく、その年の活躍が反映されたものになります。活躍といっても中身が肝心で、おしゃべりができて目立つだけでは当選できません。まじめに仕事をし、その人なりに真剣な部会活動や日常生活の中での人との係わりが見られるかが、大きなポイントになっているようです。以前は、投票用紙に書かれる候補者名の順番で、有利不利があったようですが、今は、選ぶ側の利用者自身が力をつけ（投票用紙に写真をつける等の工夫ももちろんありますが）一人ひとりをじっくり選んでいる様子が伝わってきます。普段では、周囲の人に対して上手に表現できず一見無関心に思われやすい利用者たちですが、選挙を通し、いかに集団の中で成長し人を受け入れ、自分のしっかりとした意思を持っているかがわかります。

さて、今年も3月19日に選挙がありました。毎年、利用者による選挙管理委員会を作り準備をしていますが、期日が迫ると職員の係わりが強くなるので、今回は利用者主体を最後まで柱にする取り組みを心がけました。立候補の受付も、職員が届出用紙を受け取らず、すべて選挙管理委員会が行いました。投票用紙が出来上がるまでハラハラでしたが、最後に職員が確認し手伝う程度で進められました。定数7に11名が立候補し、結果はやはり厳しいものになりました。当日休んでしまいアピールできなかった候補者、普段休みがちな候補者、職場が離れ日常的に活躍を見せられない候補者等は落選、昨年残念な結果となり1年間まじめに頑張った人は返り咲きました。

重い障害と言葉のない人がいる役員会ですが、とにかく話し合うことを大切にここ数年本人たちのペースを柱に取り組んできました。どんな話でも、必ずみんな返事や意思表示をすることを繰り返し根気よく働きかけ、その結果、職員が声をかけないと会議を招集することすらできなかった役員会も、今では職員が入らずとも会議を進め、しっかり記録もと取り、主体的に、そしてたくましさをも身に付けてきています。

そして、今年度の自治会活動のテーマは『計画と見通しを持った話し合い』、職員の支援のテーマは『見える活動』です。自分たちの活動の年間計画を立て、それに向けた話し合いを積み重ねていく、職員は本人たちが活動しやすいように、年間スケジュール表や会議時の黒板活用等、目に見える形を作ることを大切に組み組んでいきます。

# けやき作業所

## 「変えていこう給与と規程！」

「誰からの反論もなくシーンと静まり返った沈黙。スタッフから第二けやきメンバーへの説明が続く：「既存の給与規程に則った昨年夏のボーナス要求会議にて、前年度の給与と支出が第二けやき作業収入よりも多くなっている分の相殺として夏のボーナスは出ないとの所長の通達があった一場面でした。」

第二けやき下請け作業班は、企業からの受注量の増減やメンバーの体調など不安定な状況が続いていた一五年度上半期でしたが、冬のボーナス時には既存の作業を取り組みながら、二股をかけて請け負った単価のいい仕事をメンバー全員一致で取り組み、無事(?)給与の四倍という額のボーナスを得ました。

しかし、どこか変なんです。なぜ、稼いでも稼いでも給与が上がっていかないのか?そこには、給与規程の矛盾があった

からでした。

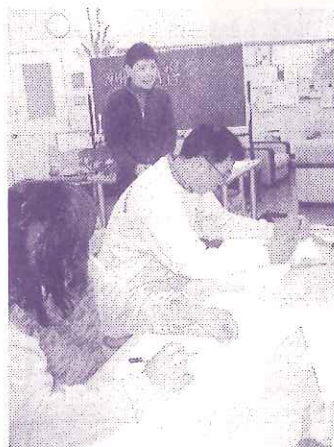
スタッフからの提案により始まった給与規程改定案の検討会議は、作業の終わった三時半から送迎バス出発の間の三十分をフルに活用して連日行われました。今まで不透明だった給与改定の評価基準の見直しや見直し回数の変更、通勤手当の見直し、一時間単位の時給制を三十分単位へ!一人ひとりの意見を尊重しながらの会議に全員ヘトヘトだったことは言うまでもありません。その日の議論をまとめ、明日の議論の内容をパソコンで作成するというハードな日々を送った虹の会会長代行の活躍!

第二けやき作業所工賃規程改定案として打ち出された五枚の要望書は、今年三月に無事所長の目にとまり、新たに始まる自分達の作業所作りの出発点として、この春から施行される予定となっています。

3月6日(出)、きょうされん第27次国会請願署名・募金活動を行いました。けやき作業所自治会から5名の方が参加し、芳賀、市貝地域を訪問させていただきました。



3月12日(金)、けやき作業所にて霞田美知子講師による、個別支援計画学習会が開催されました。



## ホリディ感謝会



➔ 3月27日(出)、のん美里ホームにてヘルパー講座に参加しました。利用されている方と楽しくお茶を飲む渡辺景子さん。(写真右)

➔ 3月27日(出)、けやき作業所にて今年度最後のホリディが開催されました。新年度にむけての皆様からのご意見を大切にしていこうと思います。

## ヘルパー講座



## 今日のホリディ

県東ライフサポートセンターだより

# ほっとCHA

ほっとCHAの窓からは薄桃色の小さな桜の花びらが七う七うと踊っているステキな光景を目にすることが出来ます。ゆっくりのんびりお花見したい方は是非いらしてくださね。お待ちしてま〜あ!

〜いい湯だな〜

## 温泉旅行

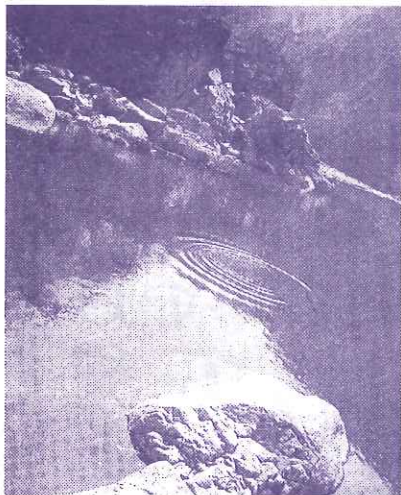
ないのが残念ですが

快晴の三月二三日、早朝から眠い目をこすりながらメンバーさんのお迎えに行くスタッフ。しかし、スタッフの眠気を吹き飛ばすかのように元氣一杯のメンバーさん：

そう、この日はまさに待った温泉旅行！担当スタッフが自他共に認めるほどの、雨女！参加予定者は数日前から天気予報に一喜一憂。出発前日の「晴れマーク」にほっとしたのは私だけではないかと思えます。当日は日頃の行いがよかった？ために快晴！暖かな春の日差しの下バスは鬼怒川へ出発。

龍王峡に鬼怒川温泉、そしてお菓子の城でお土産購入。メンバーさん二三名・ボランティアさん三名・スタッフ五名の総勢三〇名でワイワイにぎやかな日帰り旅行となりました。参加された方々のたくさん感想です。(全てをご紹介でき

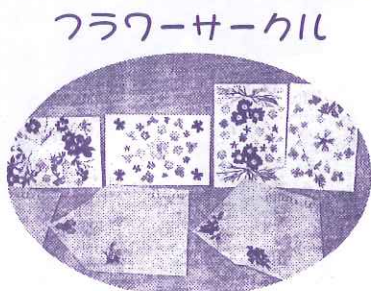
- ・露天風呂が小さかったけど楽しかったです。
- ・温泉の一日旅行に行けて良かったです。次回は那須方面に行ければ幸いです。日常から忘れることができた。とても楽しかった。
- ・今度はサウナ付のお風呂に入りたいです。
- ・新緑とか紅葉の時期にいいですね。バスターをやるの。今朝は遅刻しそうだったけど、無事間に合ってた良かったです。温泉旅行は近場にあるもの



龍王峡にて

と殆ど変わらないか劣っていたので次回はメインにはせず、サブとして日程に組み込みますのがいいと思われれます。今回初めて旅行を実施いたしました。たくさんの方のメンバーさんが交流できたことをうれしく思います。次回はメンバーさん同士で企画できるようなになればいいですね。今回は県の「福祉バス」を利用していただきました。安全で楽しいバスの旅ができたことを一同感謝しております。ありがとうございます。

## フォトコーナー



「押し花でカードづくり」

## 新任職員紹介

四月から新しい職員が加わりました「板橋香苗」栃木県民二年生です。知らないことがたくさんあると思います。いろいろ教えてください。皆さんよろしくお願いいたします。



## ヒーブル

お蔭様で、県東ライフサポートセンターも開所して三年目となりました。今年度は、当事者活動を支援を特に意識した活動をして参りたいと思っています。メンバーさん、ボランティアさん、当センターにかかわりある皆様、行事、「ほっとCHA」など企画・運営から一緒にやっ

てみませんか。ご参加お待ちしております。メンバーの、メンバーによる、メンバーのための県東ライフサポートセンターを今年度もどうぞよろしくお願いたします。県東ライフサポートセンター

「ほっとCHA」  
 施設長 遠藤 礼子



# みらいニュース



## セルプ・みらい入所式

新年度がスタートした四月一日、入所式が行われました。セルプ・みらいには新しい仲間が二人入りました。

利用者の久保田健治さんと、職員の大橋資広さんです。久保田さんは益子養護高等部を卒業したばかりの一八歳、大橋さんは、大学を卒業したばかりの二二歳です。きつと、みらいに新鮮な風を送り込んでくれることでしょう。

入所式に続き、辞令伝達式が行われました。鈴木所長から一人ひとり辞令が手渡されるとみんなどとも緊張した表情で受け取り、更に、所長からみらいの一六年度事業計画のお話があると、いつも元気で騒がしい食堂もピンと糸を張ったように静まり、新しいスタートを切るのにふさわしい式となりました。



久保田 健治さん

僕は、セルプ・みらいで働けてとても嬉しいです。仕事を一生懸命がんばります。僕の好きなものは、車とウルトラマンです。車では、特にワーゲンのゴルフが好きです。これからもよろしくお願いします。

## 自治会スタート一周年!

セルプ・みらいの自治会がスタートして一年になります。昨年四月の役員選挙に始まり、きょうされんの利用者交流会への参加、夏と冬のポナナス交渉、秋のバスハイクなどの活動を行ってきました。しかし、自治会としての名前と会則を決めずに、また会長の渡辺さんがユニクロに就職したため、副会長の吉沢さんが会長となり、そのまま副会長を置かないまま一年が過ぎてしまいました。一年という区切りで今年も選挙を行い、新しい役員を中心にあつては名前と会則を決めることから始めていきたいと思えます。様々な自治会活動を、一つひとつ丁寧に行っていくことを通して、自治会について学び、仲間一人ひとりの想いや願いが叶えられるような取り組みにしていきたいと思えます。まだできたてはやほやの自治会ですが、これからどんなことをやっていこうかと、不安と期待でいっぱいです。

今年大学を卒業したばかりなので社会人一年目のルーキーです。ぼうずです。体力だけには自信があったのですが、それすら衰えの兆しが出て来ているので皆さんにはご迷惑をかけてしまうとは思いますが、一生懸命頑張りますのでよろしくお願いします。



大橋 資広さん  
もひろ

## 桜咲く季節からのスタート

毎度!みらい弁当です!

今年の春は暖かく、真岡の桜も目一杯咲き乱れました。特にSLで有名な真岡鉄道はすばらしい景観をつくってくれました。

さて、皆様のおなじみ、『みらい弁当』は新しい仲間を加えてスタートを切ったところです。そこで、『みらい弁当』に携わるメンバーをご紹介します。まず、班長並木賢二さん、副班長藤澤由紀さんが任命されました。また、新しい仲間として、渡辺重晴さんが加わり、継続して弁当班を任命された小坂英子さんと共に四名の仲間が弁当をつくっております。配達班としても新たに増便する予定で、より多くの注文をお受けできるように準備しております。そこで、新しく班長・副班長に任命された二人にそれぞれ、弁当を作る意気込みを聞いてみました。

まずは並木班長

「いろいろと分からないところは職員に聞きますが、頑張ります!」

そして藤澤副班長

「自分の担当をしっかりと覚えて頑張ります!」

皆様へおいしいお弁当をお届けできるように固い決意を表明しています。これからもどうぞ『みらい弁当』を御ひいきに、よろしくお願い致します。

僕たちのこと  
 もっと知ってほしい!

**ボランティア大募集**

けやき作業所では、作業・創作活動・GHなどで、利用者さんとの交流をして下さる方を大募集!

興味ある方は、まず連絡を!

けやき作業所  
 028-687-1040



**こぶし作業所・後援会  
 ボランティア大募集!**

1. 日曜作業所
2. 日常の作業の介助
3. キッチン・セルフ
4. フリーマーケットの準備

お待ち  
 しています

お問い合わせ こぶし作業所  
 ☎028 (662) 1911


**休日を利用して**

体験ボランティアしてみませんか?

○第2けやき・ライフサポートセンターは、なし畑に囲まれたのどかなとつてもよいところですよ!

☆第2けやき作業所

☆県東ライフサポートセンター ☆




**ボランティア大募集**

**セルフみらい**

箱折り、リサイクル作業  
 弁当配達のお手伝い  
 作業ボランティア  
 ... etc

☆仲間と一緒に  
 楽しい時間を過ごしましょう☆



社会福祉法人 **こぶしの会**

- 法人事務局 こぶし作業所 ☎321-0902 栃木県宇都宮市柳田町1401  
 TEL 028 (662) 1911 FAX 028 (662) 1912  
 TEL 028 (613) 5703  
 E-mail kobusi@chive.ocn.ne.jp
- 生活支援センター
- キッチンセルフ ☎320-8508 栃木県宇都宮市若草1-10-6とちぎ福祉プラザ内  
 TEL 028 (622) 0966
- こぶしのときわ荘 ☎321-3235 栃木県宇都宮市鑑山町字東原146-7  
 TEL 028 (667) 5531
- けやき作業所  
 デイサービスセンター ☎321-3304 栃木県芳賀郡芳賀町祖母井2244  
 TEL 028 (687) 1040 FAX 028 (677) 5789  
 E-mail keyaki@carrot.ocn.ne.jp
- 第2けやき作業所 ☎321-3303 栃木県芳賀郡芳賀町稲毛田1532  
 TEL 028 (677) 0495 FAX 028 (687) 4818  
 TEL 028 (687) 0311 FAX 028 (687) 0325
- 県東ライフサポートセンター
- すずらんの家 ☎321-3304 栃木県芳賀郡芳賀町祖母井2305-2  
 TEL 028 (677) 4430
- けやきハイツ ☎321-3304 栃木県芳賀郡芳賀町祖母井178  
 TEL 028 (677) 2876
- 第2けやきホーム ☎321-3304 栃木県芳賀郡芳賀町祖母井1025  
 TEL 028 (677) 0776
- セルフ・みらい ☎321-4363 栃木県真岡市亀山1043-23  
 TEL 0285 (81) 1155 FAX 0285 (81) 1177  
 E-mail selp-mirai@carrot.ocn.ne.jp

発行所

郵便番号 170-0073

東京都世田谷区砧六-二六-二一  
 特定非営利活動法人障害者団体定期刊行物協会

定価五〇円